

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

入って原稿を作ったりもしていたが、結局全体の足なみからすると、そういう完璧主義ではいつの完成になるか心もとないという状況になった。ちょうどゼロックスが入ってコピー技術が急速にのびているときで、東大ではそれを利用して初めて総合カタログを作っていた。そこで、古いカードをコピーしてそれを修正しながら編纂を進めてはどうかと考え、それが図書館の事業にのせられた。

これで仕事は軌道に乗ったのだが、妙なもので逆にそれから教官の協力は急速に衰えた。カードの修正という大仕事があったのだが、それも関係研究室から大学院生がアルバイトで出るという形で行なわれた。図書館の編纂室が中心になって、そのスタッフの方々がめきめきと専門の力をつけて統括されたのである。言い出しべえの私なども、時おりの相談にあずかるていどのことでお茶を濁していた。それが、——ついに目の前に立派な冊子目録がずらりと並ぶまでになったのである。大事業の完遂に対してただ感謝あるのみだが、また図書館という機関のしっかりした存在の重みをあらためて感じたことであつた。

カード目録と冊子目録との長短は、今さら私などがここで言うまでもない。今では総合カタログもできて古いころのようなカード検索の不便はかなり軽減されたが、それにしても新しい冊子の古典目録の便利さは比較を絶している。事、和漢書の古典に関しては、もう検索のためにむだな時間を費すことはないだろう。ただ、この目録の収載は昭和40年度までの納入分である。ひきつづいての補充版の計画をそろそろ樹てて頂きたい。それに冊子目録の計画はなにも一種に限ったことではない。当初の話のなかでは洋書目録を続行することなどもあって、抱負は遠大であった。わが愛する図書館が、さらにひきつづいて利用者の便益のために新しい大事業に乗り出されんことを期待したい。感謝のことばがまた欲の深いねだりになってしまったが、幸いに諒とされよ。

(元図書館長)

資料紹介 8

前回紹介したものの外に、件名や主題で検索できる書誌として、いわゆる Books in print や各国国立図書館などの蔵書目録や全国書誌もあげることができる。

6. Subject Guide to Books in Print : an Index to the Publishers' Trade List Annual. New York, Bowker, 1957-
7. British Books in Print : the Reference Catalogue of Current Literature. London, Whitaker, 1874-
8. Verzeichnis Lieferbarer Bücher. Frankfurt a. M., Buchhändler-Vereinigung, 1971-
9. Les Livres Disponibles : Sujets. Paris, Cercle de la Librairie, 1978-
10. Catalogo dei Libri in Commercio. Soggetti. Milano, Editrice Bibliografica, 197 -

6～9については、本誌 Vol.3, no.3 ですでにその概略を紹介した。件名の構成に多少差異はあるが、これらはいずれも人名、地名、その他の語を件名（見出し語）として、アルファベット順に並べ、その各々の件名の下に関係文献を著者名、又は書名のアルファベット順に収録しているのが一般的である。6は Books in Print の姉妹編で、米国出版図書のうち今も入手できるものを件名別に並べかえたものである。7は著者名及び書名からなる辞書体配列で、とくに書名中の語も

検索に際しての見出し語として利用できる点で、8は元来、著者名と書名のそれぞれ独立した二部で構成されているが、書名の部では7と同様書名中の件名をあらわす語があればその語からも検索できるよう件名化してある点で、それぞれ特異な索引といえる。9は Répertoire des livres de langue française disponibles が1977年版から以前の出版社を含めた3社の情報を、上記の出版社がタイトルを改め刊行をはじめたものである。文献の配列には UDC (Universal Decimal Classification) が採用されている。そして10は、著者名、書名、件名の三部構成で、件名の下に個々の文献が著者名のアルファベット順に並べられている。

これらの書誌は、あくまでも Books in print であり、今現在入手できない図書や、これら書誌に情報提供をしていない出版社のものは当然含まれていない。

各国の国立図書館が刊行する全国書誌 (National Bibliography) や蔵書目録もこの目的に利用できる。British Museum 図書館や The Library of Congress はともに英米両国の第一級の図書館であり、しかも著作権を付与する権限をも有しているため、その出版された蔵書目録は各々の国の全国書誌は勿論、一種の世界書誌ともいえる。

11. British National Bibliography (BNB) London, the Council of the British National Bibliography, 1950-
12. Subject Index of the Modern Works added

- to the Library. London, Pordes, 1902-
13. Library of Congress Catalog : Books, Subjects. Ann Arbor, Mi., J.E. Edwards or Totowa, N.J., Rowman and Littlefield, 1955-
14. Deutsche Bibliographie : Fünfjahres-Verzeichnis. Tl. 2. Frankfurt a. M., Buchhändler-Vereinigung, 1952-
15. 全日本出版物総目録 国立国会図書館 昭和23 (1948) 年一

11は British Museum 図書館が納本制度にもとづいて寄託された全英の出版物を DDC の記号順にリスト化したものである。12は British Museum 図書館が1881年以降の出版情報について刊行したもの。件名には、人名を除く平易な語が使われ、その下に関係文献が出版年代順に配列されている。13は Library of Congress 所蔵図

書の件名アルファベット順リストであり、14はドイツ語で出版された図書すべてを収めている書誌で、西独から刊行されている。(1911年創刊で現在東独から刊行されている Deutsches Bücher-verzeichnis の件名を利用すれば20世紀初頭までの溯及的検索ができる。) 15は日本で出版され、国立国会図書館法に基づいて同館に納本された図書の総合目録である。逐次刊行物の部と二分されている図書の部は、更に官公庁出版と一般図書に分けられる。一般図書は日本十進分類法 (NDC) の主綱表により分類され、各々主題の下に関係文献が著者名のアルファベット順に配列されているが、NDC の主綱表によったため分類が大まかすぎ、件名からの利用という点では難がある。

(参考調査掛)

昭和55年度上半期文献複写実績

国立大学図書館間等で取扱われた文献複写の本学に於ける昭和55年度上半期(4月～9月)分実績は下記のとおりです。

区分 図書館名	受 付		依 頼	
	件 数	金 額	件 数	金 額
中央図書館	495 (190)	688,200 (271,045)	142 (409)	387,347 (659,361)
医学分館	427 (478)	193,580 (196,260)	40 (246)	17,450 (153,165)
工学分館	227 (17)	147,900 (12,100)	104 (14)	54,530 (5,015)
農学分館	143 (19)	50,980 (9,070)	16 (71)	5,610 (24,985)
合 計	1,292 (704)	1,080,660 (488,475)	302 (740)	464,937 (842,526)

(注) 表中の () 内数字は私費を示す

昭和55年度上半期(4月～9月)分文献複写受付および依頼国立大学別実績は下記のとおりです。

区分 大学別	受 付		区分 大学別	依 頼	
	件 数	金 額		件 数	金 額
筑波大図	26 (24)	34,855 (14,855)	東大図	26 (140)	131,801 (281,641)
岩手大図	36 (8)	25,755 (36,380)	京大図	21 (50)	69,185 (75,930)
新潟大図	29 (15)	14,665 (55,785)	一橋大図	7 (35)	41,220 (94,415)
秋田大図	41 (2)	34,310 (500)	北大図	14 (22)	35,541 (14,195)
東大法図	1 (29)	10,080 (13,445)	九大図	4 (24)	2,325 (28,135)
名工大図	23	62,330	名大図	7 (10)	35,720 (12,215)
山形大工分	17	6,380	東芸大図	17 (17)	(15,425)
名大図	10 (7)	10,255 (4,135)	東工大図	15 (1)	7,695 (190)
茨城大図	15 (1)	18,105 (280)	岩手大図	11 (4)	2,400 (2,065)
北教大函館分	13 (1)	8,790 (500)	金沢大図	1 (8)	455 (7,630)
そ の 他	284 (103)	462,675 (145,165)	そ の 他	36 (98)	61,005 (127,520)

(注) 表中の () 内数字は私費を示す

※ 受付および依頼件数の多い上位10の国立大学を上げました。

昭和55年度第1回東北大学附属図書館 総合研修会

標記研修会は、東北地区大学図書館協議会（国立部会）との共催により昭和55年11月6日（木）午後2時より本館視聴覚室において開催された。今回は、長岡技術科学大学図書課長及川三千男氏を講師に迎え、「カードレス・ライブラリーを目指して」—長岡技術科学大学の業務機械化について—という題での講演であった。

衆知の通り、コンピュータ化の波は大学図書館にも押し寄せ、国立大学図書館のうち13%に及ぶ12校が何らかの形でコンピュータ化されているのが現状である。その中でもとりわけ長岡技術科学大学附属図書館は、国内的国際的な学術情報流通システムの結節点（Node）として機能することを基本方針とし、NATURES（Nagaoka Technological University Research and Educational Support）と称するトータル・システムの実現を目指している。この方針にそって53年6月からは図書貸出専用機による図書貸出業務を実施し、55年4月からは図書受入れ、整理業務の電算化を実施するという具合に着々と完成に近づきつつある。この度の講演においてはその進行課程を具体例や苦労話等をまじえて紹介していただき、これから電算化に踏み入れようとしている本図書館にとって参考になることは多々あった。その中でも特に機種選定とシステム設計にあたっての留意点として上げられた三つのこと、すなわち、(1)信頼のおけるメーカーを選ぶこと、(2)システム開発の際、詳細で綿密な計画書の提出を求めること、(3)開発された情報検索システムについてできるだけくわしく説明して貰い、その検索システムをよく理解することは、きわめて有益な助言であった。

（総合研修委員）

昭和55年度第2回東北大学附属図書館 総合研修会

標記研修会は、さる11月27日本館視聴覚室において行われた。今回は出張で一時帰国中のミシガン大学アジア図書館主任斎藤雅英氏を講師にむかえ、「米国における大学図書館の現状と将来」という題で講演が行われた。アメリカの大学図書館について、先達の諸氏がこれまでいろいろの形で発表され、それによって現状を知ることが出来るが、今回の講演は、氏が2年間にわたりアメリカの大学図書館職員として経験し、氏の目を通して見たアメリカの大学図書館の現状、特にミシガン大学の University Library について豊富な話題を示しながら詳細に述べられた。

最近職場のいろいろな場で使われる3つの言葉、Priority（先であること、順位、優先権）Evaluation（評価）、L. R. S. P.（Long Range Strategy Plan、長期戦略計画、長期将来計画）について、これらの持つ意味について、事例をあげながら説明された。

あるポジションの職員が職務を遂行するにあたってはそのポジションの職務内容の処理の優先順位（Priority）を念頭におく必要があり、行った業績が評価（Evaluation）される。このような業績の評価は職員個人個人に毎年行われ、又昇給、昇格についても同様の手続きがとられる。このような例から、これらの言葉は、良し悪しは別として、アメリカの合理主義、競争社会のひいては図書館専門職の厳しさの一面を表わしているように思われた。

日本にすぐれた書評誌がないため、外国において日本の文献を収集することは困難であると云う悩み、注文が述べられた。社会事情のちがいがらシビアな内容であったが、アメリカの大学図書館の現状をより深く理解出来た有意義な講演だった。

宮城県沖地震関係文献一覧・7

- (457) 東北工業大学附属図書館：宮城県沖地震による被害と復旧状況・私立大学図書館協会東北地区部会研究部 昭和55年度第2回研究部会〔I〕見学資料 10P. 昭55. 10.
- (458) 東北工業大学広報委員会：宮城県沖地震本学の復旧へ向けて「学内災害対策本部」設置 工大広報号外 昭 53. 6. 19.
- (459) 宮城県総務部：'78宮城県沖地震白書
 - (1) '78宮城県沖地震災害の概況—応急措置と復興対策— 137P. 昭53. 12.
 - (2) '78宮城県沖地震災害の実態—住民等の対応および被害の実態調査報告—312P. 昭54. 6.
 - (3) '78宮城県沖地震災害の教訓—実態と課題— 406. P. 昭55. 3.
- 〔訂正〕下記の番号の文献に間違いがありましたので、差し替えてください。
- (408) 東北地方建設局：1978年宮城県沖地震災害報告書 216. P. 昭54. 11.
- (435) 阿部良洋、守 研二：石越町公民館の地震被害—その1. 1978年2月20日の震害調査阿部良洋：石越町公民館の地震被害—その2. 2月20日の震害に対する補修及び補強の検討（日本建築学会東北支部昭和53年度第一回研究発表会）、日本建築学会東北支部研究報告集・32号、77～84P. 昭53. 11.

工学分館だより

広大な工学部キャンパス中央地に建設が進められてきた新工学分館は、昨年11月完成した。この新しい図書館は工学部全体の建物との調和を考え、内外ともコンクリート打放の2階建てで落ち着いた灰色の外観を呈し2,700 m^2 の総面積を有する。

1階は広ろびろとしたロビー、ラウンジ等と共に事務管理部門及び視聴覚室、自由閲覧室が配置され、2階は、全フロアーが開架閲覧室となり、中央階段を中心に南側が第1閲覧室、北側は第2閲覧室に分れている。第1閲覧室には、学生用図書、指定図書、参考図書と電気系研究図書を、第2閲覧室には学術雑誌、Chemical Abstracts、学位論文、特許公報を配架し全体で約5万冊の配架が可能である。書架を囲んで四方の窓ぎわに閲覧席が配置されている。家具についてもベージュ色のカーペットとの調和を考え、かつ場所により個席（キャレル）、 π （マンジ）型閲覧机や4人掛、6人掛の木製机を配置している。そして、この図書館には、東北地方ではじめてのブックディテクションシステムが採用され図書貸出チェックの自動化が図られる。分館の将来目標は現在各学科に分散配置されている学科図書資料を分館に収蔵し集中管理方式により運営することである。

今回電気系三学科図書室を統合することに伴ない、分館利用規則も改正が行われた。新館への移転は2月23日～2月28日の一週間を予定している現在日常業務を行いながらさらに書架の棚板調整、書架番号の付与等、移転準備作業を消化するため、分館及び電気系図書職員一同力を合せ日夜頑張っている。



会 議 等

○学術雑誌総合目録 欧文編データ更新編集委員会

と き：昭和55年11月1日（土）

ところ：東京大学附属図書館

出席者：玉木整理課長

○昭和55年度大学図書館職員講習会

と き：昭和55年11月4日（火）～7日（金）

ところ：東京会場 東京大学附属図書館

出席者：受入掛 小松武彦、医学分館 阿食秀昭、工学分館 武内桂子

○昭和55年度第一回東北大学附属図書館総合研修会

と き：昭和55年11月6日（木）

講 師：長岡技術科学大学

図書課長 及川三千男氏

テーマ：「カードレス・ライブラリーを目指して—長岡技術科学大学の業務機械化について—」

○昭和55年度東北地区大学図書館協議会実務者研修会

と き：昭和55年11月6日（木）～7日（金）

ところ：東北大学附属図書館

出席者：柿沼閲覧課長ほか

○第12回（昭和55年度）国際連合寄託図書館会議

と き：昭和55年11月13日（木）～14日（金）

ところ：広島大学附属図書館

出席者：相馬参考調査掛長

○国立大学図書館協議会理事会第2部会会議

と き：昭和55年11月17日（月）～18日（火）

ところ：大阪大学附属図書館中之島分館

出席者：長尾事務部長

○昭和55年度第二回東北大学附属図書館総合研修会

と き：昭和55年11月27日（木）

講 師：ミシガン大学アジア図書館

主任 齊藤雅英氏

テーマ：「米国における大学図書館の現状と将来」

○昭和55年度漢籍担当職員講習会

と き：昭和55年12月1日（月）～6日（土）

ところ：東京大学総合研究資料館

出席者：和漢書目録掛 星政則

○第3回情報図書館学シンポジウム

と き：昭和55年12月2日（火）

ところ：東京大学附属図書館

出席者：遠藤企画・渉外掛長

東北大学記念資料室だより

例年のとおり、暮から正月に入ってくると、記念資料室は年度末の定例的な作業がいそがしくなる。「本学の歴史に関係ある資料を収集」という使命からして、本室はこの時期まことに多くの方々に働きかけ、御協力をお願いするのである。

① 昭和56年3月末日をもって停年退官される本学教官の方々に直接依頼状を発送して、「記念写真」の撮影をお願いする。助教授以上のすべての方に本室指定の写真館で（希望により例外もありうる）、適宜撮影してもらい（写場・研究室・自宅など希望に従い、日時も15日間で随意に選ばれる）、それを四つ切台紙つきのもの3冊につくる。そうしてその1冊を本室に永遠に保存し、2冊を退官の方々に寄贈するのである。例年約20名の方々がこの人数に入っておられ、12月からはじまり1月後半に撮影がつづき、3月の停年退官パーティーには差上げる運びである。

② つぎに上記の停年退官教官のうち、希望される方に在職中の研究業績を物語る各自の「著作目録」を作製贈呈する作業がある。これは該当教官のある各部局の長に依頼状を発送して、希望の有無や増刷の必要（100部は無料、増刷は実費）などを照会し、つづいて希望各教官との折衝に入り著作目録原稿本文、目録附載の著者の小写真や略歴などの収集となり2月末まで、印刷所の決定、契約、原稿送りこみと進み、校正がくりかえされる中に新年度に入り、退官教官の研究室の後継者の方々の御助力を得ながら完成に近づく。例年約半数を少し越える方からの申込みがあり、昭和38年本室が発足してから今日まで通計して第178号に及んでいる。

③ 上記の「著作目録」作製を希望される教官の中には、その目録原稿とともに、その内容をなす自己の単行本や論文の別刷や複製などをまとめて寄贈される方が毎年何人かある。これは本室には勿論ありがたいが、また諸先生にとつても1つの永久保存措置として、悦ばれているのである。そこで昨年から、服藤記念資料室長の提案にもとづいて、著作目録と平行して、論文や著書やその

他の記念物を退官にあたって寄贈されたいという文書を、新たにお送りすることとなった。昨年はこの線から塩川教授の「原爆瓦」、大平教授の「浜住教授講義ノート」などまことに貴重な資料が入った。これには、本学在職中の思い出、といったようなものも、含まれてよいと思う。

④ 例年発送の依頼公文書の最後のものは4月末日を期日とし、その部局で55年度において印刷・刊行された資料一切の1セットを寄贈ねがうというものである。これは数年前から開始した作業で、いわば最近はやりの官庁情報公開問題にもすこし関連がある。本室の依頼先は主要な資料生産主体一本部庶務部をはじめとする37の学内各機関である。

以上の諸作業は、附属図書館本館事務部をはじめとするきわめて多くの部局課また各個大学人の協力によって進められている。この中の幾つかの点が、全国の大学の同様の計画活動のよき先例として参考にされているのも、全学の大学を愛する厚い想いの賜ものであり、本室への御好意の結果である。深く感謝の意を表するとともに、一層の御鞭撻と御援助とをお願いする次第である。

影印本、ケネー「経済表」の受贈について

François Quesnay (1694~1774)

Tableau économique. 第3版, 1759年

この「経済表」は、フランス古典経済学の体系的樹立者であるケネーが、全経済理論の要点を一枚の表にまとめたものである。資料は日本大学経済学部図書館が所蔵しているものを影印本として作製されたものである。同資料の寄贈は全国を13地区（北海道・東北・北陸・東京・横浜・東海・京都・大阪・神戸・中国・四国・九州・沖縄）に分け、東北地区については本学附属図書館が寄贈をうけました。本資料は本館に備付け広く学術研究の資料として本学研究者の利用は勿論のこと、東北地区の関係研究者も利用できますことを併せて紹介いたします。

なお、資料寄贈につきましては日本大学経済学部図書館のご好意に対し深く感謝いたします。

人事異動

発令月日	旧官職	氏名	新官職	備考
昭和55. 12. 3	閲覧課 事務補佐員	山本 敦子		辞職
12. 5		鳩 喜美子	閲覧課 事務補佐員	採用
12. 16	工学分館 事務補佐員	須田 仁	工学分館 文部事務官	配置換

東北大学附属図書館報「木遣子」 第5巻 第4号（通巻第20号）昭和56年2月28日発行

編集委員長 湯本一義 編集委員 星 政則、佐藤賢策、佐々木勝義、藤原克彦

発行人 長尾公司 発行所 東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 22-1800 (2408)